

科目区分	専門分野			科目番号	1413	曜日時間	
授業科目	看護の統合と実践実習						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次後期	授業形態	臨地実習
担当教員	深見 信子						
授業目的	看護をマネジメントするための基礎的能力を養う。						
中核	流動的環境下におけるチーム医療の実践						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数受持ち患者の状況に応じた看護の実際が理解できる。 2. 看護管理および医療安全管理の実際が理解できる。 3. 夜勤帯における患者の看護や看護師の役割が理解できる。 4. 看護実践能力を向上させるため必要な自己の課題と研鑽の必要性が理解できる。 						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	12日間	<p>I. 複数受持ち実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 複数受け持ち患者に、病棟の方針にそって課題の把握 2) 優先順位を考慮した援助の実施 3) 病棟における円滑な業務体制の理解 <p>II. 看護管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病棟管理 <ul style="list-style-type: none"> ・物的管理・人的管理 2) 多職種者との調整 3) 入院患者の管理 4) 病院管理（安全管理体制） <p>III. 夜間における看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 夜間の看護師の動き 2) 夜間の患者の状況理解 3) 夜間の病棟体制 4) 急変体制（看護部体制） <p>IV. 臨地実習の総まとめ</p>	臨地実習	90	各担当教員	実践活動の場以外の実習 2時間	
終了後課題	「看護実践能力を向上させるために必要な自己の課題と研鑽の必要性」のテーマで1000字レポート提出						
評価計画方法	臨地実習の援助を総合的に評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	看護師：病院勤務 16年 看護教員：学校勤務 12年						
講義への反映	病院勤務の経験を活かし、状況に応じた実習を展開する。						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						